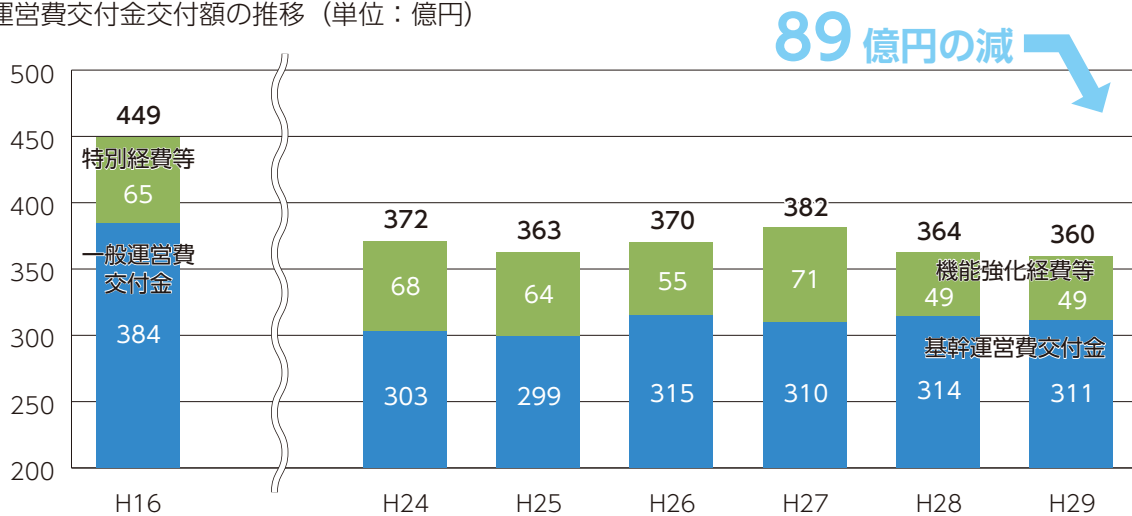


収入内訳の推移

ポイント 1 運営費交付金は毎年削減

運営費交付金交付額の推移（単位：億円）



国から交付される運営費交付金は、毎年削減される仕組みになっており、法人化当初の平成16年度と比較すると89億円も削減されています。

このため、経営の効率化を図り、外部資金等の自己収入の増収策を講じる必要があります。

※各年度に交付された金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の運営費交付金収入（P4）や業務の進捗度に応じ計上される損益計算書上の運営費交付金収益（P13）とは一致しません。

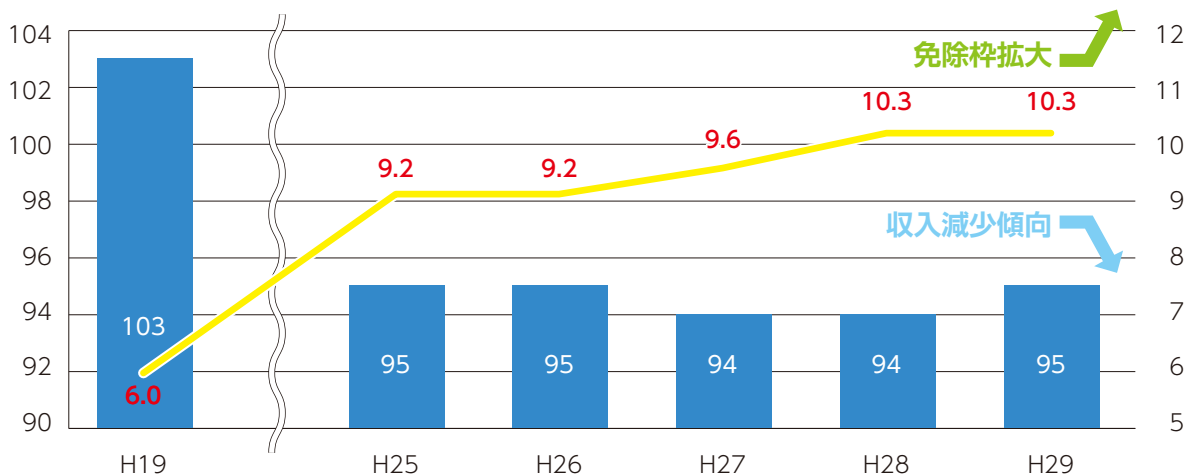
※H28から運営費交付金の各名称が変更されております。

※各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

ポイント 2 学生納付金収入は免除制度の拡充により減少傾向

学生納付金収入の推移（単位：億円）

免除額の推移（単位：億円）

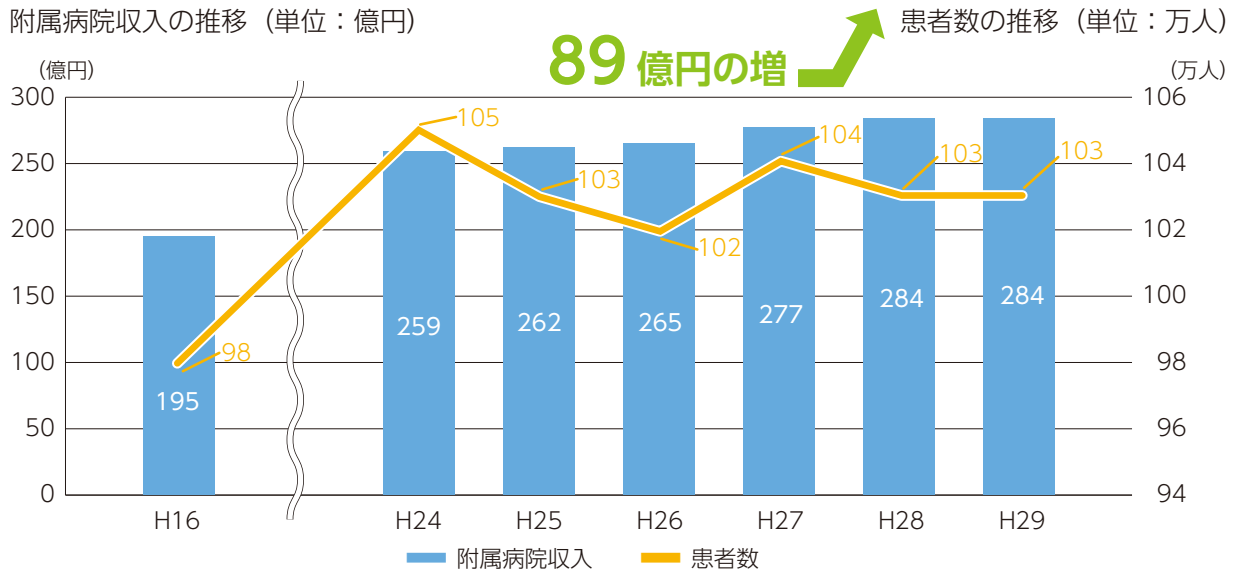


学業優秀でありながら、経済的に恵まれた環境にない学生に対しては、入学金及び授業料の全額または一部を免除する制度があります。

国からの支援もあり、平成29年度も引き続き、免除枠を拡大しました。

収入内訳の推移

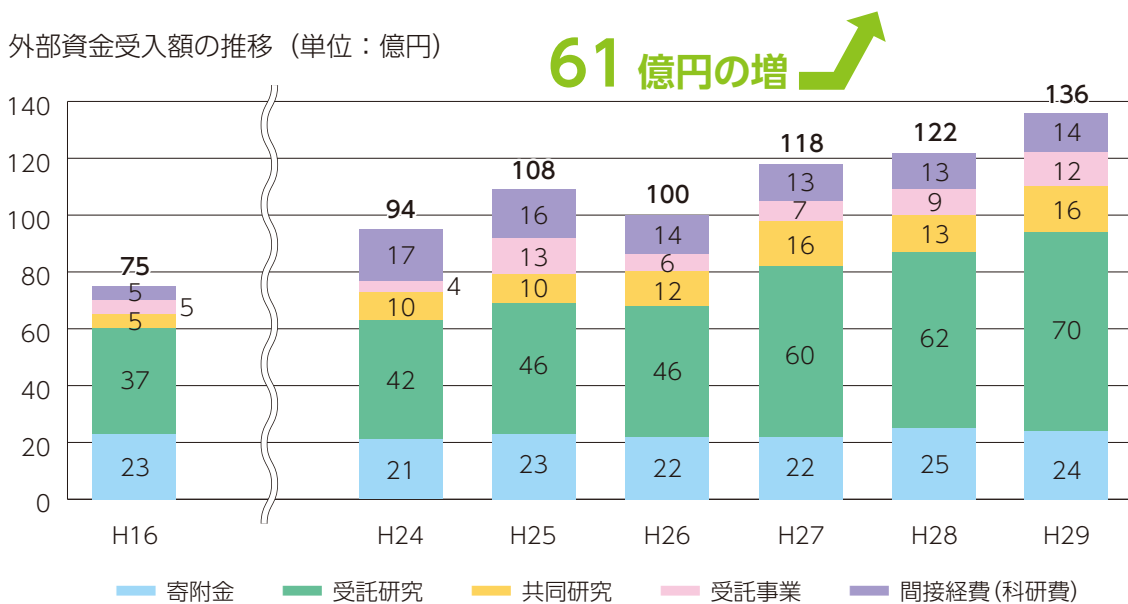
ポイント 3 大学病院の経営努力により病院収入は増加しています



大学病院は、医療人材を養成し、高度医療の提供や、新治療法の研究開発を通じ、安心安全な国民生活を実現する使命を負っており、利益のみを追求しているわけではありません。

北大病院は、これらの使命を着実に果たしつつ、保有資産（診療機器等）の見直しによる経費の削減、手術件数の増や病床稼働率の向上による増収など、様々な経営努力を行っています。

ポイント 4 外部資金の獲得拡大に取り組んでいます



国立大学の事業拡大のためには、民間等の資金を受入れて研究等を行う外部資金の獲得が重要となります。北大においても、研究者が企業等にシーズの発表を行う説明会を開催する等、外部資金の獲得拡大に取り組んでいます。

※各年度に受入した金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の外部資金収入(P4)とは一致しません。